

令和3年3月19日

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市スポーツ推進審議会
会 長 樽林 初夫

体育施設を兼ねた大規模避難施設について(建議)

令和3年1月27日、当審議会に対し意見を求められた体育施設を兼ねた大規模避難施設について、利用団体等へのアンケート、意見交換等実施し、審議を重ねてまいりました。

つきましては、審議会としての意見がまとまりましたので、別添のとおり建議いたします。

体育施設を兼ねた大規模避難施設について

令和3年3月19日

牧之原市スポーツ推進審議会

牧之原市スポーツ推進審議会では、令和3年1月27日に牧之原市長から「体育施設を兼ねた大規模避難施設について」の諮問を受け、体育施設に必要な施設の内容、機能、付帯設備の在り方について、基本的な方向性を示すため審議をしてまいりました。

本審議会では、利用団体等へのアンケート、意見交換を実施しこれを参考にしながら、今回の施設整備によりスポーツの更なる推進、多目的に利用できる交流拠点、防災拠点施設としての機能を発揮する施設像について協議したので、次のとおり建議します。

<本審議会としての意見>

1 施設全般に関すること

(1) 施設全体を通して、利用者の利便性や安全性、さらには、導入する機能、設備についてはランニングコスト、ライフサイクルコストの低減に配慮し、維持管理運営のしやすい衛生的な施設であることが求められる。

(2) 施設全体を通して、バリアフリー化されると考えるが、より一層利用しやすくするため、利用者目線に立った配慮を十分検討すること。

(3) 施設利用時に、スポーツをする以外の人も気軽に訪れることができ、休憩や簡単な飲食ができるような憩いの場が必要。

2 メインフロアの機能について

(1) 長期間使用することを前提として、多種目競技による使用、多目的な利用ができる空間を設けると共に、激しい運動による衝撃に耐え、安全性も確保ができるよう部材の選択など最新の知見を元に慎重に検討すること。

(2) 競技応援席、イベント等を観覧する観客席として使用する他、競技の待機場所や災害時にも有効的に活用できる観客席の設置を検討すること。

(3) 雨天時にも気軽に運動できるランニングコースやウォーキングのスペースが必要と考える。また、スペースを設ける際は利用者の身体的負担の軽減などを十分考慮すること。

3 多様な運動機会の提供、市民が集う機能について

(1) 本施設周辺には、い～らをはじめ、相良 B&G 海洋センター、新設される放射線防護施設などが配置されている。これら周辺施設がそれぞれ活性化し相乗効果を生み出せるような一体的な利活用を検討し、本施設におい

て必要な諸室・機能の精査や、多くの方が多目的に利用することを想定した規模や工夫が必要と考える。

(2) 子供がいる家庭でもスポーツを楽しめる空間として、キッズルーム（スペース）の在り方について、利用方法など明確な目的を持って設置するとともに、衛生面や安全性、プライバシーの保護や維持管理面など様々な観点から検討を行い、必要な規模を決定することが必要と考える。

また、小児用トイレやオムツ交換台など子ども用の設備については、利用者の動線などに配慮し、適切な場所に配置の検討が必要。

(3) シャワールーム・更衣室について、昨今、整備されている施設には設置されてきているが、近隣市町の使用実態や利用方法などを参考にすると、有効的に活用するために必要な室数、規模を検討すること。

4 その他の機能について

(1) 駐車場については、多くの方の利用が想定されるため、可能な限り駐車スペースを確保すべきである。

(2) 屋外機能について、敷地面積を最大限に利用し、駐車場だけでなく、多目的に使用できるような工夫が必要と考える。

(3) 防災機能について、原子力災害時を含め、防災拠点施設としての機能を十分に発揮し、避難者がストレスなく生活できるような資機材や備蓄等を確保するとともに、安心安全な施設とすることが必要と考える。